

技術資料



床用エンボスラミネートフィルム

L-235

特徴

エンボス加工が特徴で透明性があるので、下地に自由なデザインが可能です。

物性データ

項目		結果	備考
表面		エンボス	—
主材料		塩化ビニル	—
厚み (μm)	フィルム層	190	ダイヤルゲージ
	粘着層	30	
	セパレーター	25	
粘着力 (N/25mm)	20分値	26.9	試験方法参照
	24時間値	28.6	
紫外線透過率(%)		3.2	

＜試験方法＞
・ JIS Z0237準拠
・ 2Kgゴムローラー1往復圧着
・ 剥離速度 300mm/min
・ 180° 剥離
・ 測定温度 23℃・50%RH

○滑り抵抗値（C.S.R値）

試験片No.	試料の表面状態	測定値	備考
革靴想定 (ゴム硬度：80)	清掃	0.75	試験方法参照
	水（水道水400g/m ² サンプ）	0.75	
革靴想定 (ゴム硬度：30)	清掃	0.65	
	水（水道水400g/m ² サンプ）	0.60	

C.S.R値について
C.S.R値が低いほど「滑りやすく」高いほど「滑り低くく」なります。但し値が高すぎるとつまづいたりする可能性が高くなりますので、下足床で歩行される場合（靴、運動靴、サンダル等）の一般テクな指標は0.4～0.9となります。
また、対象となる床材がプラスチックシートの場合、C.S.R値の許容範囲は0.25～0.95となります。この許容範囲は履物や動作、運動能力等によっても異なりますが、表面易水や異物等の汚れがある場合は滑りやすくなる傾向にあるため、雨や土砂当が直接あたる場所へのご使用を控えてください。表面に汚れが付着した場合は清掃していただくなど、使用上の注意が必要となります。
また、下記のような場所に施工されますと、店頭の恐れがあるためご使用を控えてください。
・ 階段等の付近に段差がある場所
・ 施工場所が平坦ではなく傾斜になっている場所

各試験条件について
清掃・・・床材を清掃し乾燥させた状態
水・・・床材に水を付着させた状態（日常の雨を想定）

使用上の注意

- ・被着体表面の油・埃・水分等はきれいに拭き取ってから貼り付けて下さい。
- ・貼り付けは出来るだけ、10℃以上の雰囲気下で十分に圧着して下さい。
- ・ラミネート加工時の圧着が弱いと、加工後浮き剥がれやシルバリング（細かい空気の噛み込み）が発生する可能性があります。
- ・特に冬期はメディア・ラミネートを室温に十分馴染ませてから使用してください。
- ・インクの乾燥が不十分な場合ラミネートフィルムやメディアの剥がれ収縮、カールの原因となりますので十分にご注意願います。また印刷濃度が高くなるにつて残留溶剤が多くなるため、初期粘着力が低くなる傾向にありますのでしっかりと乾燥させてください。
- ・メディアを伸ばしながら施工しないでください。経時で戻ろうとする力が発生し浮き剥がれの原因となります。
- ・ラミネート加工時テンションのかけすぎには注意願います。収縮や施工後の浮き剥がれの原因となります。
- ・特殊な被着体に貼る場合は、事前に予備テストを行って下さい。
- ・保存場所は直接日光の当たる場所は避け、冷暗所に保管して下さい。
- ・納入後は出来るだけ短期間にご使用ください。
- ・本技術資料に記載の数値は、当社試験室における測定値の一例であり、保証値ではありません。